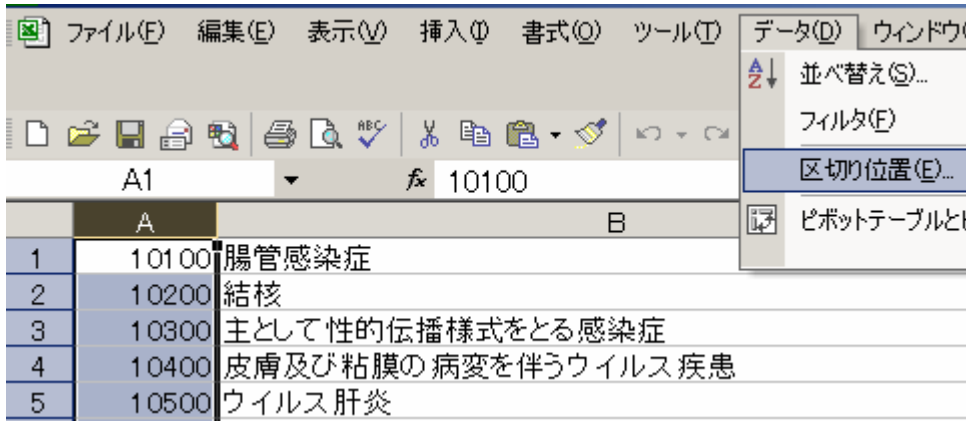


## 6ケタの傷病コードをExcel上で5ケタに変換する方法

PDM法プログラムは傷病コードは5ケタまでしか扱えない、という制約があります。6ケタの傷病コードを持つ傷病マスターファイルとレセプトデータファイルがある場合は6ケタのコードを5ケタに変換する必要があります。

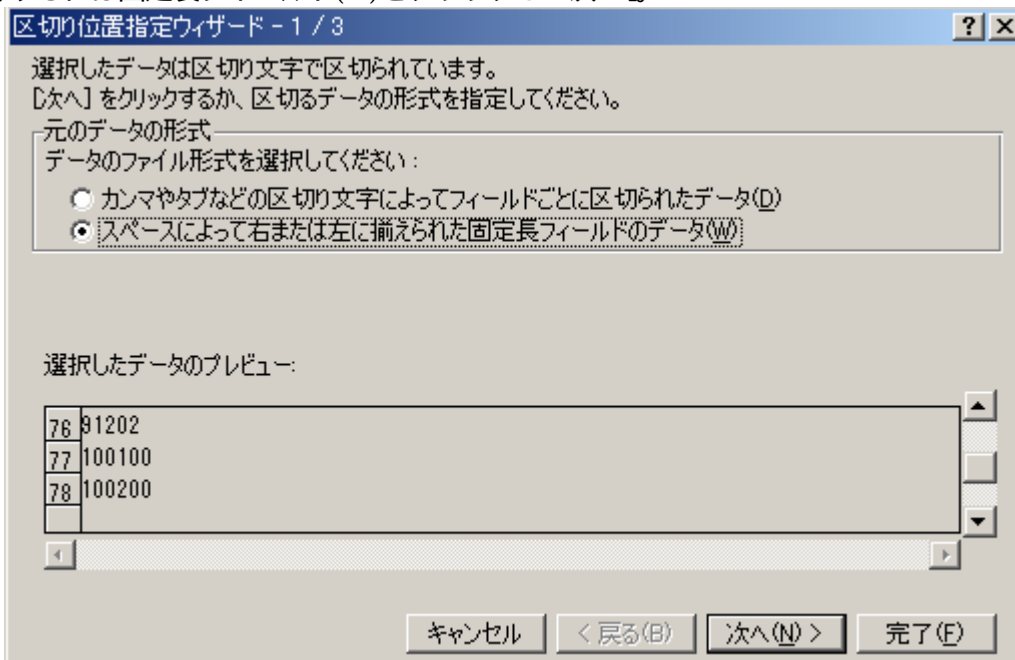
傷病マスターファイル

まず傷病コードの列をハイライトし、データ(D) 区切り位置(E)を選択



	A	B
1	10100	腸管感染症
2	10200	結核
3	10300	主として性的伝播様式をとる感染症
4	10400	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患
5	10500	ウイルス肝炎

すると次の画面がでてきます。数字は全て左寄りになっているため、6ケタの傷病コードの最後の1ケタのみ削除するには固定長フィールド(W)をクリックし「次へ」



区切り位置指定ウィザード - 1 / 3

選択したデータは区切り文字で区切られています。  
[次へ]をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。

元のデータの形式  
データのファイル形式を選択してください：

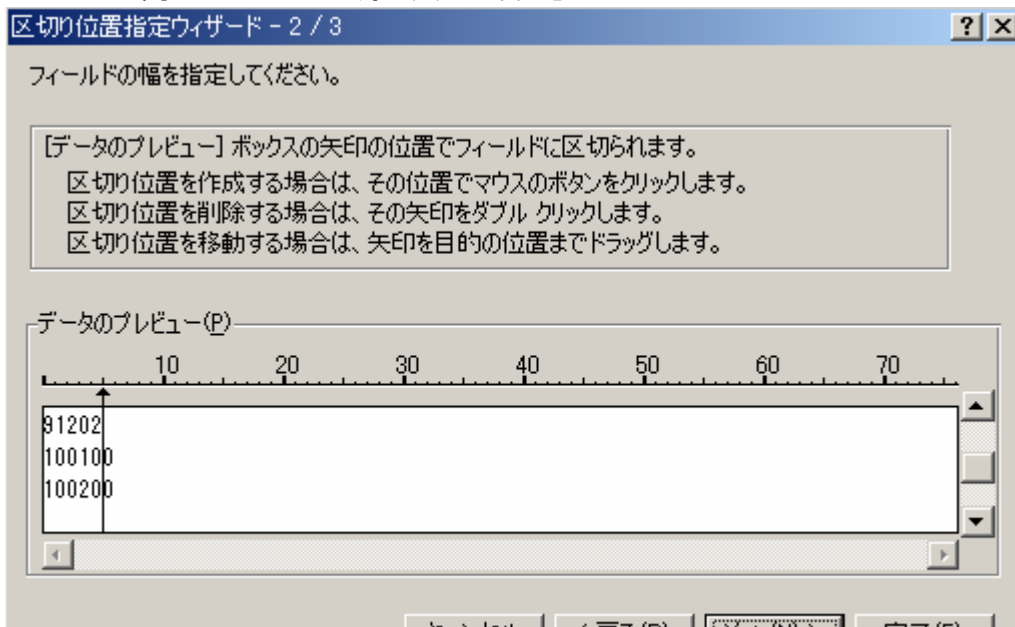
- カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)
- スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ(W)

選択したデータのプレビュー：

76	91202
77	100100
78	100200

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

5ケタと6ケタの間にクリックして線を入れ「次へ」



区切り位置指定ウィザード - 2 / 3

フィールドの幅を指定してください。

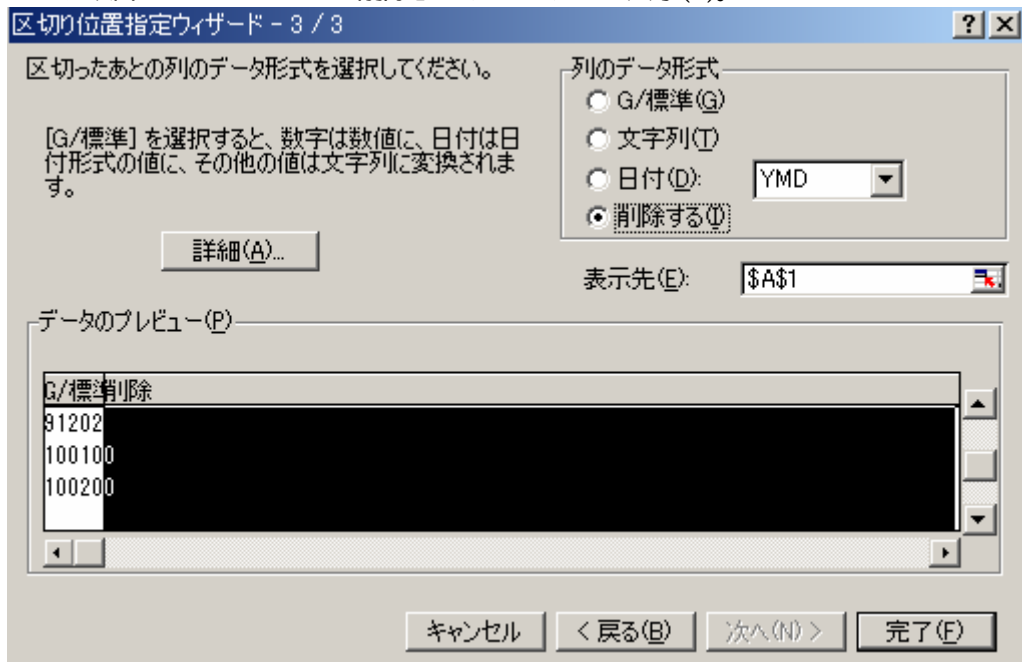
[データのプレビュー] ボックスの矢印の位置でフィールドに区切られます。  
区切り位置を作成する場合は、その位置でマウスのボタンをクリックします。  
区切り位置を削除する場合は、その矢印をダブルクリックします。  
区切り位置を移動する場合は、矢印を目的の位置までドラッグします。

データのプレビュー(P)

91202	
100100	
100200	

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

6ケタ以降をハイライトし「削除」をクリックして終了(F)。



このように6ケタのコードのみ最後の6ケタ目がなくなって全て5ケタにそろいました。

74	91200	その他の循環器系の疾患
75	91201	動脈瘤
76	91202	末梢循環不全
77	10010	急性鼻咽頭炎[かぜ]
78	10020	急性咽頭炎及び急性扁桃炎
79	10030	その他の急上気道感染症
80	10040	肺炎
81	10050	急性気管支炎及び急性細気管支炎
82	10060	アレルギー性鼻炎

#### レセプトデータファイルの変換

レセプトデータファイルの傷病コードも同様に変換しなければなりません。レセプトデータでは傷病コードはD列から入っています。レセプトデータに最大10傷病まで含まれていたら、D～M列まで10回上記の作業くりかえします。ウンザリする作業ですがガマンして行ってください。

Microsoft Excel - nagano-sample

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Excel O

	A	B	C	D	E				
1	1	3	457	11030					
2	2	1	427	10030					
3	3	1	647	90100	40				
4	4	1	115	12020					
5	5	2	1050	10020					
6	6	1	453	10030					
7	7	1	437	10030					
8	8	1	921	14030	11100				
9	9	1	477	12010					
10	10	1	403	12030					
11	11	31	62338	21000	11040	20600	19050	11120	